

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
北海道芸術デザイン 専門学校	昭和51年5月1日	杉 澤 投 吉	〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 (電話) 011-756-0777		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 美専学園	昭和62年12月4日	高 橋 英 雄	〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 (電話) 011-756-0777		
目 的	学科の目的 環境デザイン学科(フラワーデザイン専攻)の各分野に関するプロ養成に必要な、「基礎から実践」までを教育することを目的とし、次の事項に重点的に取り組む。 ・各分野のプロになるための技術や知識を学ばせ就職させる。 ・国家資格を中心に各種の資格取得を推進し、社会の発展に寄与する実践的な能力・態度を育てる。 ・いかに学生・保護者・就職先企業等のニーズに応えるか、各分野における諸課題を主体的・創造的に研修し実務的な職業教育を施す。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化教養分野 専門課程	環境デザイン学科 (フラワーデザイン専攻)	2年(昼)	2,400単位時間 (又は単位)	平成7年1月23日文 部省告示第7号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	90単位時間 (又は単位)	2310単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人の内数	26人	2人	12人	14人	
学期制度	■前期：4月1日～9月28日 ■後期：9月29日～3月31日		成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 授業担当教員が課題の成果・提出状況・出席状況等を総合的に評価する。	
長期休み	■学年始め：4月9日 ■夏 季：7月28日～8月17日 ■冬 季：12月17日～1月12日 ■前 期 末：9月10日～9月28日 ■学 年 末：3月4日～4月7日		卒業・進級条件	教育指導計画にしたがって授業科目を履修し、その成果が満足できると認められるときは、各学年の課程の修了又は卒業を認定する。卒業必要授業数2400単位時間	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 面談及び保護者との連携		課外活動	■課外活動の種類 北海道私立専修学校各種学校連合会札幌支部体育事業の参加、地域清掃等 ■サークル活動 (有) 無	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界</p> <p>日比谷花壇、明道香風園、紅乃花や、など 花き小売業界、札幌花材などディスプレイ 資材業ほか</p> <p>■就職率 100%</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>NFD(日本フラワーデザイナー協会)検 定、フラワー装飾技能検定、販売士検 定、Illustratorクリエイター能力認定試験、 Photoshopクリエイター能力認定試験、色彩 士検定、ビジネス能力検定</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成25年4月1日在学者22名（平成25年4月入学者を含む） 平成26年3月31日在学者22名（平成26年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>補習の実施と保護者への連絡・連携</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.bisen-g.ac.jp/</p>		

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」を達成するために、指導内容や各種特別活動等を総合的に組織する一連のPDCAサイクルにおいて、教育課程編成委員会でその教育効果を検証し、企業等委員からの意見・助言を取り入れ、開設科目編成や授業内容の改善等を図っていくものとする。

- ・ 学生の就業先の業界動向に関する最新情報を収集し、現場の実務で求められる専門スキルに対応した授業科目の開設や授業課題の設定、ICT関連機材等の学習環境整備、教材開発等に活用する。
- ・ 企業等委員から経営者としての視点による助言を受け、即戦力となる人材育成のために、学生がインターンシップや職場体験、現場見学等を経験できる機会を創出する等、社会人としての基礎力および実務スキル向上につながる授業内容や指導方法の改善に取り組む。

教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月30日現在

名前	所属
佐野 公康	株式会社デービス 代表取締役
西村 昌実	北海道イラストレーターズクラブα 会長
井上 俊彦	一般社団法人 札幌・北海道コンテンツ戦略機構 理事長
内藤 卓也	株式会社ジュリアジャパン 取締役社長
野村 光雄	株式会社デザインミック 代表取締役
薄木 健友	株式会社フルーロン花佳 代表取締役
鈴木 理	株式会社鈴木理アトリエ一級建築士事務所 代表取締役
中山 眞琴	株式会社ナカヤマ・アーキテクト 代表取締役
杉澤 投吉	北海道芸術デザイン専門学校 学校長
堀口 徳久	北海道芸術デザイン専門学校 副学校長
高橋 美絵	北海道芸術デザイン専門学校 教務部長
飯塚 哉子	北海道芸術デザイン専門学校 学務部長・建築デザイン学科長
山内 芳美	北海道芸術デザイン専門学校 産業デザイン学科長
田中 政史	北海道芸術デザイン専門学校 マルチメディアデザイン学科長
松原 祐子	北海道芸術デザイン専門学校 環境デザイン学科長

(開催日時)

第1回 平成26年8月27日 16:00～17:30

第2回 平成27年1月21日 16:00～17:30 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育目標「各専攻における専門教育および職業教育の確立」達成のため、各専攻関連分野の企業および業界団体と連携し、実践的な職業教育の実施に必要なカリキュラムの作成、講義および研修の実施、各種教材の作成等において、緊密な協力体制を構築・維持するものとする。

- ・ 職業教育協定書に基づき、各専攻関連分野の企業および業界団体から、各専門分野の指導講師として人材の派遣を受ける。
- ・ 担当教科目の指導計画について事前に協議し、各教科目のねらいに沿って授業内容や実施方法、評価の観点等についてまとめた指導計画書(シラバス)を作成し、指導講師と教務部で情報を共有する。
- ・ 学修成果の評価指標・手法についても予め協議し、演習終了後には指導講師による学生の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。

科目名	科目概要	連携企業等
基礎技術演習Ⅱ	植物の持つ特性を深く観察し、個性あふれる作品作りを学ぶことを目的とし、トップフロリストの指導により、現代のライフスタイルに合わせた商品価値を生み出すコンテンポラリーコーディネートーションを身につける。	有限会社 花保
デザイン演習	花フェスタを中心とし、生花店業務の一部であるグリーンディスプレイについて必要な知識と実務を身につけることを目的とし、グループワークにより小庭園をデザインし、自ら選定し、育てた鉢花・寄せ植えなどでガーデンディスプレイを制作し、出品する。	ボタニカルスペース
応用技術演習Ⅱ	生花、植物の持つ魅力を最大限に生かしたデザインを引き出すとともに、社会に出てからの実践的スピード感を養うことを目的とし、ブライダル、フューネラル、母の日、クリスマスなどのイベントを想定し、実用的なデザインテクニックを学ぶ。	有限会社 グリーン屋アウット・ザ・コーナー
応用技術演習Ⅰ	フロリストとして信頼される人材を目指して生花業界のあり方、生花業界の仕組み、生花業について学ぶことを目的とし、フラワーショップで実務を経験し、現場で必要とされる仕事についての心構えを認識する。花き卸売市場を見学し、業界団体主催の講習会に参加する。	札幌生花商業協同組合
コンペ課題制作	札幌生花商業協同組合を主軸とし、その他団体や札幌の花弁業界の歴史等を学び、かつ業界に求められる人材に成長することを目指し、フロリストとして必要不可欠なブーケテクニックとスタンド装花の迅速な作業メソッドを身につけ、生花店経営をする上での商品としての制作理解を深める。	有限会社 フローラル花づくし

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校教職員研修規程に基づき、研修は、教職員が現在就いている職に係わる職務の遂行に必要な知識、技能、資質等の向上を図ることを目的とし、そのため教職員の資質に応じた研修計画を策定し、校内外で催される必要な研修を受ける機会を学園として認め、経費を負担することとする。

- ・ 教職員は、業務に支障のない限り、理事長の承認を受け校外の産業現場等、勤務場所を離れて研修を行うことができるものとする。
- ・ 各専攻関連分野の業界団体主催による各種技能研修や、ICT機器・アプリケーションソフト関連セミナー等の受講機会を確保し、最新の実務知識・技術・技能の計画的修得および向上に努める。
- ・ 授業および学生に対する指導力向上のため、各種職能団体が運営する指導員研修への参加や、所定の年度に大学等で実施される教員免許更新講習等を受講する機会を確保する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月30日現在

名 前	所 属
河村和義	株式会社アトリエK一級建築士事務所 代表取締役
櫻井俊二	北海道芸術デザイン専門学校校友会会長
安田昭夫	北海道芸術デザイン専門学校元学校長・北海道札幌白石高等学校元校長
山森鉄夫	司法書士 山森鉄夫司法書士事務所 所長
杉澤投吉	北海道芸術デザイン専門学校 学校長
西尾正道	北海道医薬専門学校 学校長
館山昭	北海道医薬専門学校 副学校長
堀口徳久	北海道芸術デザイン専門学校 副学校長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bisen-g.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

- ホームページ <http://www.bisen-g.ac.jp/>
- SNS (Facebook) <https://www.facebook.com/bisengakuen>
- 北海道私立専修学校各種学校連合会の発行する「北海道専修学校概要」等の進学情報への掲載

授業科目等の概要

文化教養分野専門課程 環境デザイン学科（フラワーデザイン専攻）平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			一般教養（ワード）	社会人としての一般教養、常識、礼儀等を学ぶ一環として、ワープロパソコン技能を身につける。	1後	30	1	○		
○			英会話	アート、デザインの視点で英語を学ぶ。花に関連した英語の理解を深める。	1前	30	1	○	△	
○			デザイン概論（フラワーデザイン概論）	行事や季節の中でのフラワーデザインの知識を身につけ、空間におけるフラワーデザインアレンジを学ぶ。	1前	30	1	○		
○			色彩学（色彩）	フラワーデザインに必要な色彩の基礎を学び、色彩士検定3級の取得を目指す。	1前	30	1	△	○	
○			美術史（フラワーデザインⅠ）	フラワーデザインの歴史また現代のライフスタイルにおけるフラワーデザインの重要性を学ぶ。	1前	30	1	△	○	
○			デッサン（ドローイング・基礎造形）	商品提案に不可欠なイメージ表現の手段として、短時間でモチーフの特徴を把握し、表現する目と画力を鍛える。	1後	30	1		○	
○			基礎技術演習Ⅰ（フラワーデザインⅠ）	花や草木の基本的な扱い方、基礎使用区分、ワイヤリングとファンデーションテクニックを学ぶ。	1前	30	1	△	○	
○			基礎技術演習Ⅰ（フラワーデザインⅡ）	複数の花材を使い、フラワーアレンジメントや花束の造形形態と構成要素を学ぶ。	1前	60	2	△	○	
○			基礎技術演習Ⅰ（フラワーデザインⅢ）	植物の基本的な自然現象を学び、植物をよく観察し、フラワーデザインの構成理論と植物特性を考慮にいれ、自然的と装飾的などを考察して造形する。	1前	60	2	△	○	

○		基礎技術演習Ⅰ（いけばなⅠ）	日本の伝統流派を学ぶ。和の作法を知り、古来から続くいけばなの奥深さに触れる。	1通	90	3	△	○	
○		基礎技術演習Ⅱ（フラワーコーディネーションⅠ）	現代のライフスタイルに合わせた商品価値を生み出すコンテポラリーコーディネーション技能を身につける。	1通	90	3	△	○	
○		基礎技術演習Ⅱ（フラワーコーディネーションⅡ）	フロリストとして必要不可欠なブーケテクニックと迅速な作業メソッドを身につけ、商品としての制作理解を深める。	1後	60	2	△	○	
○		基礎技術演習Ⅱ（植物学Ⅰ）	北海道の草花をはじめ、鉢花、観葉植物を学名から特徴、植生、栽培方法までを網羅して学ぶ実用的な研究。	1通	90	3	△	○	
○		専門技術演習Ⅰ（ガーデニングⅠ）	寄せ植えの実習、花壇のコーディネートを通して、園芸の基礎知識の習得と、自然環境分野に幅広い視野を持つことを目指す。	1通	90	3	△	○	
○		専門技術演習Ⅰ（グリーンコーディネーションⅠ）	クライアント条件を設定し、デザインの他に環境配慮や価格計算など具体的なコーディネートボードを制作し、プレゼンテーションまでを行う。	1後	30	1	△	○	
○		専門技術演習Ⅱ（ベーシックデザイン・平面構成）	造形の基本となる構成要素を理解し、空間造形センスの基礎となる平面構成能力を身につけ、豊かな感性を養う。	1後	30	1	△	○	
○		専門技術演習Ⅱ（エクセル）	商品、売上管理など、フラワーショップ実務に不可欠なパソコン操作技能を身につける。エクセル表計算処理技能検定3級対応。	1後	60	2		○	
○		専門技術演習Ⅱ（販売実務Ⅰ）	接客マナーや販売技術といった接客業務に関する知識を得て、仕入れや在庫管理などの認識を高める。	1後	30	1	△	○	
○		DTP 演習（DTP 基礎演習）	Illustrator, Photoshop のグラフィックソフトを使い、ビジュアル表現の技術を高める演習授業。池坊ポスターコンペ対応。	1前	30	1	△	○	
○		前期課題制作	日常の実習を通し学んだ発想・技法を生かし、前期の総まとめとして課題制作をする。	1前	30	1		○	
○		後期課題制作	日常の実習を通し学んだ発想・技法を生かし、後期の総まとめとして課題制作をする。	1後	30	1		○	

○		コンペ課題制作（フローラルアートⅠ・フラワーディスプレイ）	自らのオリジナリティーを追求する目的で生花店団体が主催するフラワーデザインコンペに積極的に出品する。ホテルロビーに実習としてフラワーデザイン作品をディスプレイする。	1 前	30	1	△	○	
○		進級制作	1年間の総まとめとしての成果を問うべく、各自専攻色を生かした課題制作に取り組む。	1 後	180	6	△	○	
○		各種概論（フラワーデザインⅣ）	NFD（日本フラワーデザイナー協会）資格検定の取得に向けた受検対策。	2 前	30	1	△	○	
○		色彩応用（フローラルアートⅡ）	プリザーブドフラワーやドライ素材を色彩材料として用いて店舗販売職やディスプレイに役立つ技能を身につける。	2 前	30	1	△	○	
○		各種技術論（販売実務Ⅱ）	小売業、卸売業について学び、流通業界における販売技術、マーケティング能力を身につけ、販売士検定3級の取得を目指す。	2 前	60	2	△	○	
○		表現技法演習（DTP演習）	Illustrator, Photoshopのグラフィックソフトを使い、提案書を作る編集技能を身につけ、さらにプレゼンテーションを行うことでコミュニケーション能力を養う。	2 前	60	2	△	○	
○		材料学（フラワーコーディネーションⅣ）	花材となる植物の植生を学び、さまざまな植物形体や形態による分類に基づく組み合わせ方を知り、表現の幅を広げる。	2 前	30	1	△	○	
○		プレゼンテーション（グリーンコーディネーションⅡ）	応用のクライアント条件を設定し、デザインの他に環境配慮や価格計算など具体的なコーディネーションボードを制作し、プレゼンテーションまでを行う。	2 前	90	3	△	○	
○		プレゼンテーション（業界研究）	花産業の内容を学び、経営・商品・技術とサービスという花業界の基本的なしくみ理解する。	2 前	30	1	△	○	
○		デザイン演習（いけばなⅡ）	いけばなの伝統的作法を身につけ、自らのオリジナリティーを加えて作品制作する。学校華道インターネット花展対応。	2 前	60	2	△	○	
○		デザイン演習（グリーンディスプレイ）	グループワークにより、小庭園をデザインし、自ら選定し、育てた鉢花・寄せ植えなどでガーデンディスプレイを制作し、出品する。	2 前	30	1	△	○	
○		デザイン演習（フローラルアートⅡ）	商品としての制作品質を理解し、消費者効果を与えられる商品デザインとアートとしてのデザインの違いを学ぶ。	2 前	30	1	△	○	

○		応用技術演習Ⅰ（フラワーデザインⅣ）	ブーケ・コサージュの装飾性と造形形態、構成要素を学ぶ。またワイヤリングテクニックやリボンワークも段階的に身につける。	2 前	30	1	△	○	
○		応用技術演習Ⅰ（フラワービジネス）	フラワーショップで実務を経験し、現場で必要とされる仕事についての心構えを認識する。花き卸売市場を見学し、業界団体主催の講習会に参加する。	2 前	30	1	△	○	
○		応用技術演習Ⅰ（フラワーデザインⅤ）	植物の自然性を観察することから考えられたカテゴリーで、形や構成をテーマとし、植物素材を概念的に構成し、造形のなかに組み入れて考える。	2 前	60	2	△	○	
○		応用技術演習Ⅱ（フラワーコーディネートⅢ）	さまざまな構成法と個人の感性を生かし、植物素材の雰囲気、動き、色彩、フラワーデザインの歴史をふまえて、植物素材のもつ特徴を造形要素に組み入れる。	2 前	60	2	△	○	
○		応用技術演習Ⅱ（フラワーコーディネートⅣ）	ブライダル、フューネラル、母の日、クリスマスなどのイベントを想定し、実用的なデザインテクニックを学ぶ。	2 前	60	2	△	○	
○		前期課題制作	日常の実習を通し学んだ発想・技法を生かし、前期の総まとめとして課題制作をする。	2 前	30	1		○	
○		コンペ課題制作（フラワービジネス）	色が与える千差万別の印象を、花、あるいは植物の持つ色、器の色、組み合わせる素材の色、こだわりの部分にねらいを定め、デザインし、表現する。	2 前	30	1	△	○	
○		卒業制作	在学中に学んだフラワーデザインの専門知識、技術を十分に生かして、自らテーマを設定し、大型作品完成を目指す。	2 前	450	15	△	○	
合計				27	科目	2400 単位時間(80 単位)			